

第 1 回 物流・運輸分野個別検討会 議事概要

日 時： 平成 2 2 年 1 1 月 1 2 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0
場 所： 永田町合同庁舎 2 階 B 会議室
出 席： 中条委員 (主査)、大上委員、
小田審議官、船矢参事官、小島企画調整官
議 題： 検討の視点 (案) について
個別検討項目 (案) について

< 議事概要 >

- 日本の国際競争力向上に向けて、世界とのヒト・モノの流れの拡大が必要との認識の下、委員提案、国民の声提案等の抽出母体から、通関分野、航空分野等を中心に、検討項目を抽出。
- 通関分野においては、セキュリティに配慮しつつも、企業の国際競争力を損なうことがないよう、手続き簡素化への不断の取り組みが必要。
- 航空分野においては、空港の経営主体や使用料の在り方を始めとする運用体制や、航空会社の競争力向上に向けた取り組みが必要。
- モーダルシフトへの転換を促すために、海運分野等における規制の見直しの検討が必要。

以 上

第2回 物流・運輸分野個別検討会 議事概要

日時： 平成22年12月8日(水) 9:00～11:20
場所： 永田町合同庁舎2階 A会議室
出席： 中条委員(主査)、大上委員、
小田審議官、小島企画調整官
議題： 改革の方向性(案)について
規制・制度改革評価シート(案)について

< 議事概要 >

改革の方向性(案)について

- 世界とのヒト・モノの流れ拡大の阻害要因となっている物流・運輸分野の規制の見直しが必要。
- 運輸サービス事業者の国際競争力向上のためには、事業活動の効率化・活性化への取り組みが必要。そのためには、国際的整合性や、国際的基準の合理性を勘案することが有益。但し、この点は、物流・運輸分野に限らず、全体の方向性と認識。

規制・制度改革評価シート(案)について

- 物流分野については、構造改革特区で対応している部分があるが、特区要望ごとでなく、全国規模で対応することが望ましいなら、当分科会で対応していくべき。
- 航空分野においては、国土交通省成長戦略で方向性を記載している部分があるが、それを後押しすることは必要。
- 安全性に関わる規制については、技術発展等により、安全が担保されることを検証する必要。

以上